

講義名	日本文化論		
科目区分	教養一般		
担当教員	藤原 喜美子		
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 2時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	52011

主題と概要

テーマ：日本の庶民の生活史
この講義の目的は、日本の文化にねざす民俗(日常生活)を学ぶことにある。文化は文字にみえる資料以外に、文字に記されていない民俗資料からも窺える。例えば、家に伝わる言い伝えや生活習慣が、私達の生活を知る手段になる。そこで、日常生活の中で伝承されてきた項目を具体的に取り上げ、講義を進める。

到達目標

講義の内容を理解した上で、自分の日常生活の特色(地域性)に気付き、自らの言葉で説明できるようになる。

提出課題

1. 指定したテーマについて、受講生の体験に関する中間レポートの提出を求める。題目は別途指示する。
2. 毎回の講義では、感想文等の提出課題を課す。

評価の基準

1. 原則として、出席調査を実施する。
2. 評価は定期試験(55点)、中間レポート(30点)、平常点(15点)を総合して行う。

履修にあたっての注意・助言他

1. 講義中はノートをとること。
2. 講義中に私語をし、他人の学習の妨害をしないこと。
教室内での私語など、受講態度が好ましくない者には退室を求めることがある。

教科書

.使用しない.

プリント資料及び参考文献

プリント資料...各時間、配布する。
参考文献...講義中に適宜紹介する。

授業計画

1. 日本文化とは
日本文化をどのようにとらえるか
2. 住居
地形や気候に応じた各地の住まい
3. 衣服
木綿の登場
4. 食制
ハレの日の食事
5. 生業
海や山で仕事をする人々
6. 贈与・社交
社会と人々
7. 労働、村構成
ユイの心
8. 人生儀礼
誕生や婚姻の儀礼
9. 人生儀礼
葬送儀礼
10. 年中行事
大正月と小正月
11. 年中行事
お盆
12. 神祭
神祭を行う人々
13. 舞・踊・競技
民俗芸能
14. 言語芸術
言葉の持つ意味
15. 民間信仰
兆・占・禁・呪

予習・復習

予習...講義の最後に、翌週の講義の内容を紹介する。そのテーマについて、翌週までに興味のある事柄を1つ調べる。
復習...講義終了時、各自が、その日の講義の要点を確認する。

備考

この講義では、日本の私達の日常生活が、すべてテーマになる。日頃から自分の周囲の生活に関心を持ってもらいたい。また、日常生活における自分の体験談や人から教えていただいた話も、大事な資料になる。自らの体験談や人に教わった話も貴重な資料になり、各自が当たり前と思う日常生活にも地域ごとの特色があるということに気付いてもらいたいと思う。